

# 令和4年度北海道立市民活動促進センター事業報告書

北海道の市民活動を促進するため、相談対応、情報の収集・提供、学習機会の提供、人材の育成事業、必要な調査研究事業などを実施し、市民活動を実践している方や市民活動を始めようとする方などが、いつでも、誰でも利用しやすく、また、愛着をもって利用できるよう、北海道立市民活動促進センター（以下「センター」という。）の管理運営を行いました。

令和4年度の実績は次のとおりです。

---

## 1 管理に係る業務の実施状況に関する事項

---

### （1）指定管理業務の基本的な運営方針に基づく指定管理業務の実施状況

#### ① 開館日及び開館時間

ア 開館日：年末・年始（12月29日～1月3日）を除く日

北海道立道民活動センター（以下「かでの2・7」という）休館日（5月4日～5日）

イ 開館時間：平日 午前9時～午後9時

土・日曜日、祝日 午前9時～午後6時

#### ② 交流コーナー、情報コーナー、及び作業コーナー

交 流 コ ー ナ ー：予約6コーナー、フリー2コーナー（利用人数制限）を市民団体の打ち合わせや会議、作業などに利用いただくと共に、無料Wi-Fiを整備し提供しました。

情 報 コ ー ナ ー：パソコン2台を設置し、情報の収集や資料作成などに利用いただきました。

作 業 コ ー ナ ー：印刷機、丁合機、裁断機を備え、市民活動の資料作成などに貸し出すと共に（利用人数制限）、作業に支障をきたさないよう機材の保守に努めました。

#### ③ その他

受付にはAED（自動体外式除細動器）や老眼鏡、外国語のパンフレット（英語、中国語、韓国語、ロシア語）を設置し、高齢者、障害者、外国人への配慮をするとともに、ホワイトボードなどを備え、利用しやすく効果的な施設運営に努めました。

新型コロナウイルス感染症対策として、衛生用品の設置や利用者への検温の実施、利用人数の制限、利用確認カードによる利用者の把握に努めました。

## (2) 組織体制、人員配置、研修等の実績

### ① 組織体制及び人員の配置

職員2名・非常勤職員1名・臨時職員等5名の計8名（うち市民活動相談員3名）体制で、受付窓口には常時2名を配置し、交流コーナー等の受付や利用案内及び市民活動相談、印刷機等の設備のトラブル対応など、スムーズな対応を行いました。

センターの運営については、毎月1回センター定例会議を開催し、センター運営上の課題や事業進捗状況などを共有するほか、市民活動に関する相談については、当センターが主催する講座や実際の相談事例を基に知識を習得し、レベルアップを図りました。

役職名	人数	摘要
センター所長	1名	
職員	1名	
非常勤職員	1名	相談員
臨時職員	2名	相談員（市民活動団体所属）
臨時職員	3名	事務補助
計	8名	

### ② 職員研修

職員の資質の向上を図るため、相談内容や、市民活動団体が主催する研修会等に参加した内容については、直近のセンター定例会議において参加者が報告し、その情報について共有し、共通理解を図っています。

講座名等	開催日	参加人数	主催者・場所
【認定NPOの取得・更新に】認定NPO法人入門クラス	令和4年 7月 19日（火）	1名	NPO法人セイエン （オンライン）
労働者協同組合法に係る説明会	令和4年 7月 27日（水）	2名	北海道労働委員会（オンライン）
NPOが知っておくべき、ハラスメント・コンプライアンス対策講座	令和4年 12月 2日（金）	3名	NPO法人NPOサポートはこだて 函館市地域交流 まちづくりセンター
ファンドレイジングセミナー in 旭川	令和5年 1月 28日（土）	1名	NPO法人旭川NPO サポートセンター 旭川市市民活動交流センター CoCoDe
アフターコロナの地域社会に備えたNPO組織運営について	令和5年 2月 26日（日）	1名	NPO法人北見NPO サポートセンター 夕陽ヶ丘オレンジスタジオ
計		8名	

(3) 事業等の実施項目、年間スケジュール等に対する実績

① 事業等の実施項目

ア 相談業務

相談員3名を配置し、職員とともに市民活動に関する各種相談に対応しました。また、引き続きオンラインによる相談対応を行った他、会計・税務に関することなど専門的知識が必要となる相談については、それぞれ税理士の専門家に意見を求め対応しました。

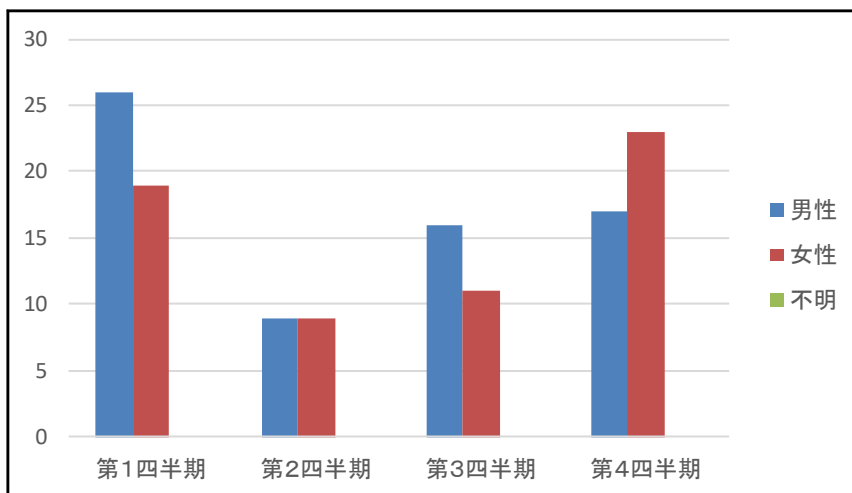
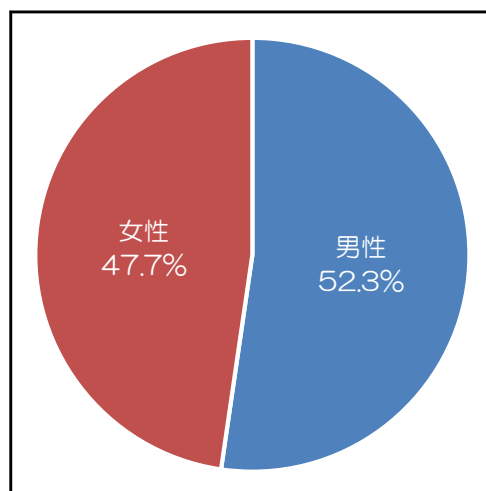
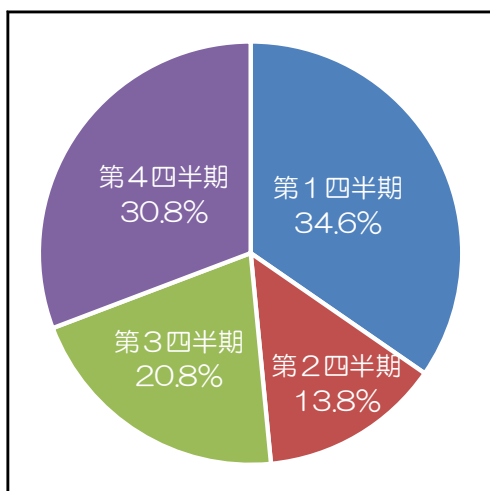
相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	19	11	16	7	5	5	12	8	7	9	13	18	130

■ 相談の概要

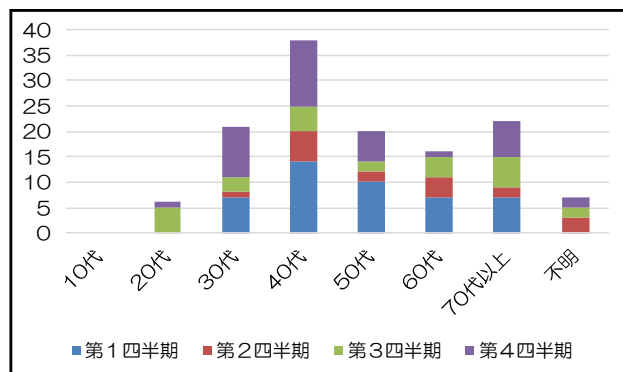
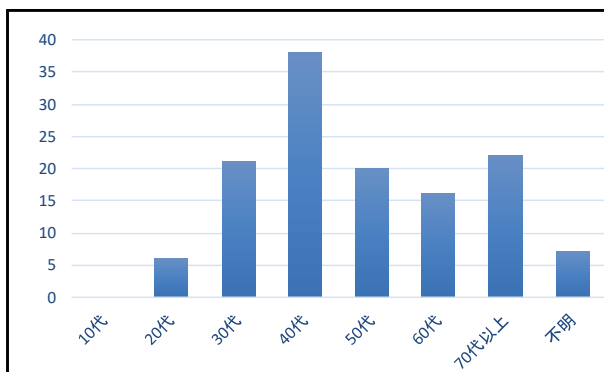
- 性別

	男性	女性	不明	計	%
第1四半期	26	19	0	45	34.6%
第2四半期	9	9	0	18	13.8%
第3四半期	16	11	0	27	20.8%
第4四半期	17	23	0	40	30.8%
計	68	62	0	130	100.0%
%	52.3%	47.7%	0.0%	100.0%	



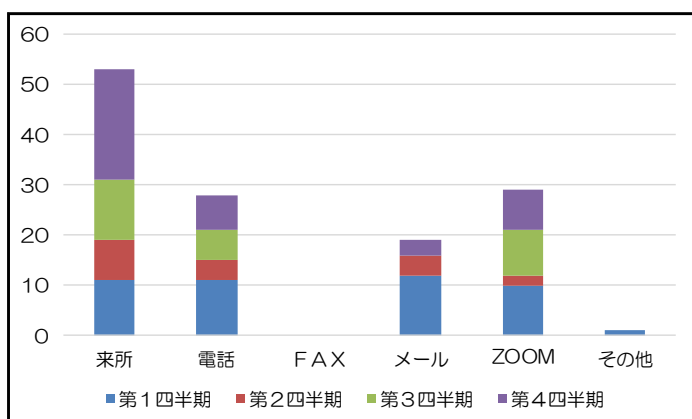
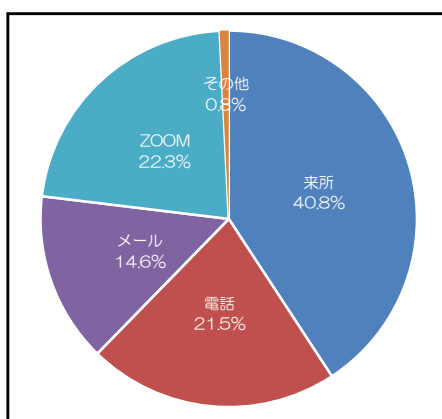
・ 年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
第1四半期	0	0	7	14	10	7	7	0	45
第2四半期	0	0	1	6	2	4	2	3	18
第3四半期	0	5	3	5	2	4	6	2	27
第4四半期	0	1	10	13	6	1	7	2	40
計	0	6	21	38	20	16	22	7	130
%	0.0%	4.6%	16.2%	29.2%	15.4%	12.3%	16.9%	5.4%	100.0%



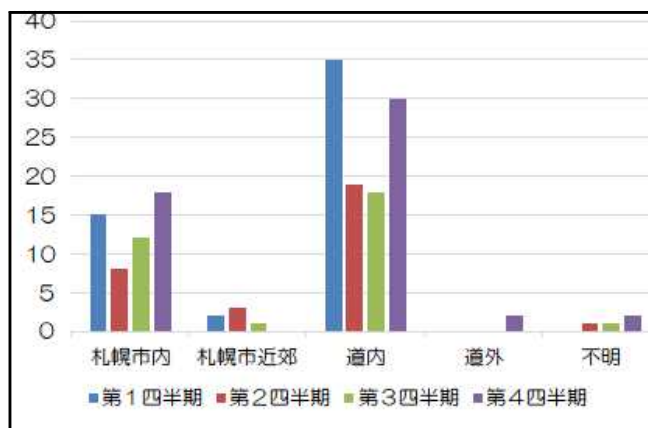
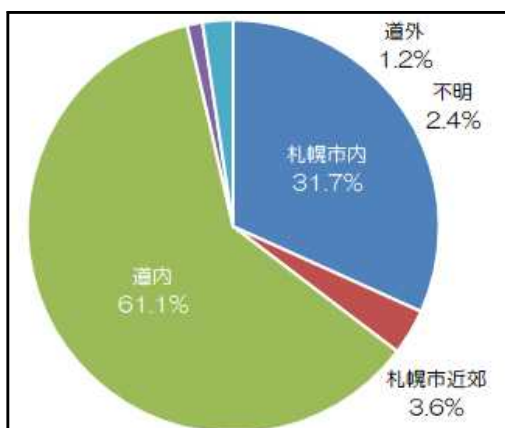
・ 相談の手段

	来所	電話	F A X	メール	Z O O M	その他	計
第1四半期	11	11	0	12	10	1	45
第2四半期	8	4	0	4	2	0	18
第3四半期	12	6	0	0	9	0	27
第4四半期	22	7	0	3	8	0	40
計	53	28	0	19	29	1	130
%	40.8%	21.5%	0.0%	14.6%	22.3%	0.8%	100.0%



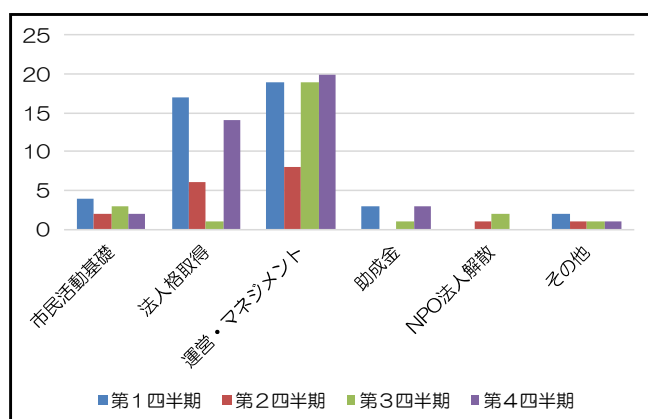
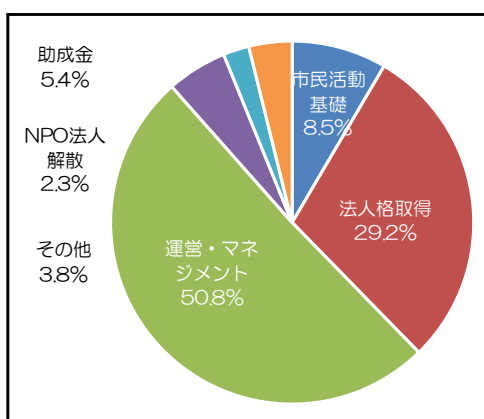
- 地域

	札幌市内	札幌近郊	道内	道外	不明	計
第1四半期	21	3	20	1	0	45
第2四半期	12	0	6	0	0	18
第3四半期	17	3	7	0	0	27
第4四半期	30	2	7	1	0	40
計	80	8	40	2	0	130
%	61.5%	6.2%	30.8%	1.5%	0.0%	100.0%



- 相談の分類

	市民活動 基礎	NPO法人 設立	運営・マネ ジメント	助成金関連	NPO法人 解散	その他	計
第1四半期	4	17	19	3	0	2	45
第2四半期	2	6	8	0	1	1	18
第3四半期	3	1	19	1	2	1	27
第4四半期	2	14	20	3	0	1	40
計	11	38	66	7	3	5	130
%	8.5%	29.2%	50.8%	5.4%	2.3%	3.8%	100.0%



## イ 情報提供業務

### a インターネットにおける情報提供

センターホームページに掲載している北海道市民活動団体情報提供システム、イベントカレンダーなどにより市民活動団体の情報を発信する他、掲載されている道内NPO法人の事業報告書・活動計算書などの閲覧書類データを随時更新し内容の充実に努めました。

また、コロナ禍における市民活動団体への支援策、施設利用に関するご案内、助成金に関する情報、センターが主催する各種講座等のご案内など、市民活動やセンターに関する最新情報の提供に努めました。

北海道市民活動団体情報提供システムに登録している市民活動団体で、メールアドレス登録がある団体については、メールによる情報提供を行いました。

### b 図書等の充実

市民活動の参考書として、市民活動に関する刊行物を購入しました。

### c 広報活動

センターパンフレット「北海道立市民活動促進センター」をセンターが主催する講座等の受講者や初めて来所された方々に配布し、センターの施設概要や機能、利用等について周知しました。

また、日本語ボランティア団体が定期的に利用していることにより、外国人の利用者も多いことから、英語、中国語、韓国語、ロシア語のパンフレットも備え置いています。

情報紙「市民活動情報」は、市民活動の促進に役立つ情報やイベント情報などを主体に、7月、11月、3月の年3回発行し、各振興局、市町村、道内外の中間支援組織等に配布しました（1回4,000部）。

### d 施設連携

センターと「かでの2・7」内の道立女性プラザ及び道立生涯学習推進センターの共催で利用促進事業を行いました。

#### ・3施設紹介パネル展

開催日：令和4年11月8日（火）～令和4年11月12日（土）

場 所：かでの2・7 6階女性プラザ（女性プラザ祭）

### e 利用者満足度調査

サービス向上や使いやすいセンター運営とするため、利用者の満足度を把握するアンケート調査を実施しました。

・調査実施期間：令和5年2月15日（水）～令和5年3月20日（月）

・調査票回収数：110

・調査結果：別添「令和4年度（2022年度）北海道立市民活動促進センター利用者満足度調査結果」のとおり

## ウ 学習機会の提供業務

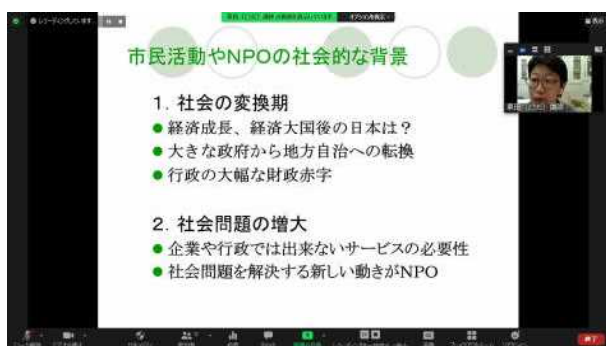
学習機会を提供する事業の実施にあたっては、市民活動に関心のある方を対象に、市民活動の基礎的知識の習得と市民活動の実例に触れる講座と位置づけ、市民活動への参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

また、市民活動団体の育成を図り、市民活動の促進に資するため、市民活動団体と協力した講座を開催しました。

### a NPO基礎講座（2回開催オンライン、参加人数18名）

コミュニティづくりやボランティア活動、NPOなどの市民活動に関心のある方、特定非営利活動法人（NPO法人）の設立を考えている人を対象に、NPOとNPO法人の基礎知識、NPO法人設立に必要な手続き及び書類作成に関する知識の習得を図ることを目的に開催しました。

【開催日・参加人数】



開催日	参加人数
令和4年 10月 20日（木）	7名
令和5年 2月 6日（月）	11名
計	18名

【内容】

・ 講義

「市民活動の基礎知識」「NPO法人設立に必要な要件や申請手続きについて」

講師：東田秀美氏

（NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長）

### b 公募企画講座（4団体採択、参加人数280名）

コミュニティづくり、ボランティア活動、NPOなどの市民活動を広く一般に理解していただくことや、市民活動を促進することを目的とした講座やパネル展、展示会などの企画を公募し、市民活動団体と共催で実施しました。



#### ■ 「いしかり防災講座「命を守る一枚の風呂敷」

開催団体：NPO法人ひとまちつながり石狩

開催日：令和4年9月3日（土）

開催場所：花川北コミュニティセンター

参加人数：26名（うちオンライン6名）

内容：石狩市の過去の災害事例、災害時に役立つ風呂敷の使い方（頭巾、リュック、手提げ、風呂敷シューズほか）を学ぶ講座を開催した。

講師：横山芳江氏

（一般社団法人日本風呂敷文化協会）



- 「NPOが知っておくべき、ハラスメント・コンプライアンス対策講座」  
 開催団体：NPO法人NPOサポートはこだて  
 開催日：令和4年12月2日（金）  
 開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター  
 参加人数：25名（オンライン含む）  
 内容：NPO等におけるハラスメント防止やコンプライアンス対策について、専門家を講師に迎え学習を深める講座を開催した。  
 講師：今野 佑一郎 氏（弁護士：札幌）  
       川北 秀人 氏  
       （IIIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）



- 「「学校に行けない僕」から見る世界」  
 開催団体：NPO法人北海道フリースクール等ネットワーク  
 開催日：令和4年2月18日（土）  
 開催場所：かでの2・7 820研修室  
 参加人数：96名  
 内容：不登校に悩む自身の経験や取材を通し、子どもの心情を保護者と学ぶ講座を開催した。  
 講師：棚園 正一 氏  
       （漫画家：不登校をテーマとした著作多数）



- 「しごとBAR」  
 開催団体：認定NPO法人まちづくりスポット恵み野  
 開催日：令和4年8月～11月（4回）  
 開催場所：JUNCTION（島松）・オンライン配信  
 参加人数：133名（オンライン含む）  
 内容：さまざまな職業の人が、1日限定で形式上のマスターになり、参加者を迎え語り合い交流することを目的として開催した。  
 語り手  
       内倉真裕美（珈琲キャロット店長）  
       清武 昌（アトリエ ココロ主宰）  
       中村和子（中村和子バレエスタジオ主宰）  
       4回目は過去回の語り手多数出演



c 市民活動ステップアップ講座（3回開催、参加人数57名）

様々な地域課題の解決やスキルアップを図るため、中間支援組織との連携を図り協働促進や新たなコミュニティ、ファンドレイジングなどをテーマとした講座を開催しました。



■ 「ファッションの可能性 ～福祉・多様性・まちづくり～」

共催団体：NPO法人NPOサポートはこだて

開催日：令和4年12月3日（土）

開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター

参加人数：28名

内容：まちづくりと福祉が連携した活動の必要性について、ファッションの視点から考え、関心の裾野を広げる講座を開催した。

講師：鶴田能史氏

（tenbo代表デザイナー）



■ 「アフターコロナの地域社会に備えた

NPO組織運営について」

共催団体：NPO法人北見NPOサポートセンター

開催日：令和5年2月26日（日）

開催場所：夕陽ヶ丘オレンジスタジオ多目的室

参加人数：11名（うちオンライン3名）

内容：アフターコロナのNPOの運営や市民活動のあり方について講義やワークショップにより学習する講座を開催した。

講師：川北秀人氏

（IHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）



■ 「どうしたらいい？インボイスセミナー&決算相談会」

共催団体：NPO法人旭川NPOサポートセンター

開催日：令和5年3月26日（日）

開催場所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

参加人数：18名

内容：非営利団体におけるインボイス制度の概要と実務のポイントを解説し、個別の相談対応を行った。

講師：佐藤はるみ氏

（アンカー税理士法人札幌）

## エ 人材の育成に関する業務

少子・高齢化社会が進み、地域社会の人口の構成が大きく変わる中で、地域課題は多種多様になり、その解決に取り組む地域のNPO法人及びNPOの各種相談にあたっては、中間支援組織等の役割が大きくなることが想定されます。道内の市民活動を促進するためには、中間支援組織等の連携や適切な助言が必要となることから、市民活動推進アドバイザーを委嘱し助言等にあたるほか、スキル向上のための講座を開催しました。

### a 市民活動推進アドバイザーの委嘱

道内の市民活動中間支援組織等のスタッフを対象に市民活動推進アドバイザーを委嘱し、地域内のNPO法人設立や組織運営等に関する相談にあたり道内の市民活動の促進に努めました。

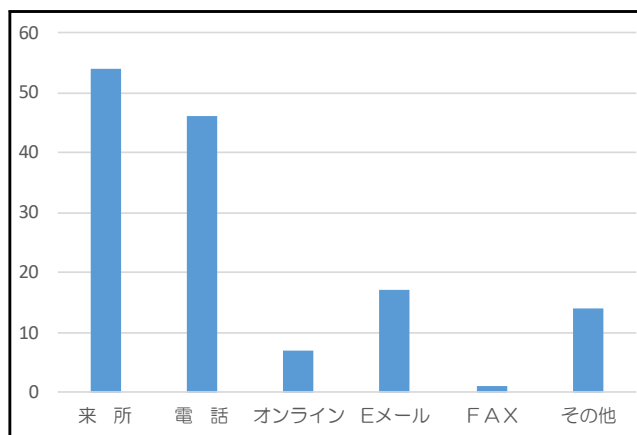
#### ・委嘱した市民活動推進アドバイザー

氏名	中間支援組織等名
柴田 由香	(公財) さっぽろ青少年女性活動協会 (札幌市市民活動サポートセンター)
齊藤 博美	NPO法人北海道NPOサポートセンター (北海道NPOサポートセンター)
豊島 潤	認定NPO法人まちづくりスポット恵み野 (まちづくりスポット恵み野)
菊池 若菜	NPO法人くしろ・わっと (釧路市民活動センターわっと)
名畑 一起	NPO法人旭川NPOサポートセンター (旭川市市民活動交流センターCoCoDe)
本間 玲子	なかしべつ町民活動ネットワーク
堀川 紅美	ワーカーズコープ苫小牧まちづくり地域福祉事業所
辻川 美奈恵	ひがし北海道市民防災サポート

#### ■ 市民活動推進アドバイザーが受けた相談の概要

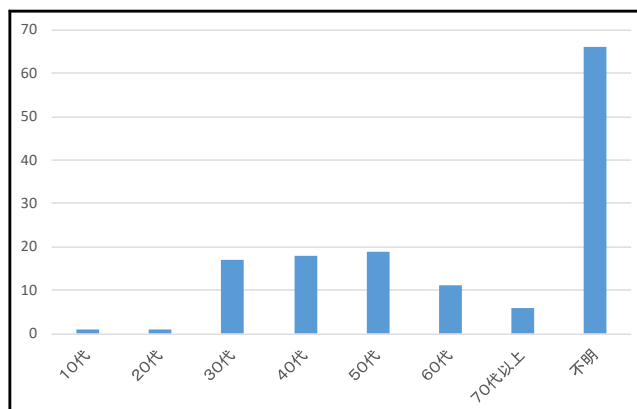
- ・ 相談件数139件
- ・ 相談の手段

区分	件数	%
来所	54	38.8%
電話	46	33.1%
オンライン	7	5.0%
Eメール	17	12.2%
FAX	1	0.7%
その他	14	10.1%
計	139	100.0%



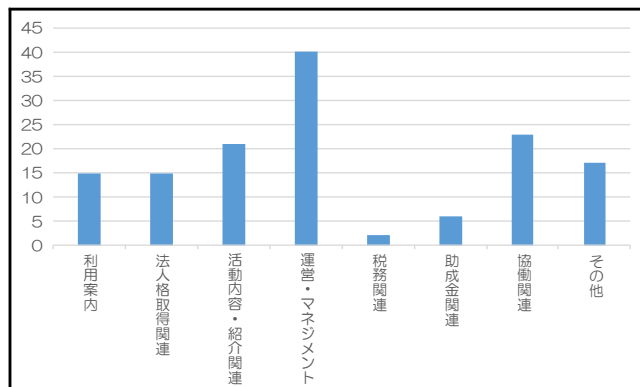
- ・ 相談者の年代

区分	件数	%
10代	1	0.7%
20代	1	0.7%
30代	17	12.2%
40代	18	12.9%
50代	19	13.7%
60代	11	7.9%
70代以上	6	4.3%
不明	66	47.5%
計	139	100.0%



• 相談の分類

区分	件数	%
利用案内	15	10.8%
法人格取得関連	15	10.8%
活動内容・紹介関連	21	15.1%
運営マネジメント	40	28.8%
税務関連	2	1.4%
助成金関連	6	4.3%
協働関連	23	16.5%
その他	17	12.2%
計	139	100.0%



b 市民活動スタッフ養成講座（6回：一部オンライン同時配信、参加人数85名）

市民活動推進アドバイザー及び中間支援組織スタッフ、市民活動団体スタッフを対象に、行政や市民活動団体の課題やニーズを踏まえ、NPOの基礎と実務、組織マネジメントなどをテーマとする研修会を開催し、市民活動に従事する職員の能力向上を図るため、幅広いプログラムを行い、質の高い人材育成に取り組みました。



■ 令和4年7月22日（金）

参加人数：14名

• 「対話の実践／ファシリテーション・

グラフィックの練習と会議の実践」

講師：津田光子氏

遠藤千尋氏

（NPOファシリテーションきたのわ）

内容：会議の観察、対話の実践、ファシリテーション・グラフィックの練習を行い、会議の進行にチャレンジした



■ 令和4年8月9日（火）オンライン同時配信

参加人数：19名

• 「NPOの基礎」

講師：東田秀美氏

（NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長）

内容：市民活動の基礎知識  
NPO法人設立に関わる要件や手続きについて

• 「労働者協同組合法が社会を変える

～協同労働という働き方～

講師：講師：石本依子氏

（ワーカーズコープ・センター事業団

北海道事業本部副部長）

内容：労働者協同組合法の説明、具体例の紹介ほか

• 講師と参加者の座談会



- 令和4年8月25日(木)  
参加人数：9名  
・「ひとりからみんなへ ～伝わる広報講座～」  
講師：吉田 知津子 氏  
(NPO法人沖縄NGOセンター理事)  
内容：伝わる原理、広報はたくさんの人に伝えようとすると伝わらなくなる。6つのDon、広報の手段



- 令和4年9月27日(火)  
参加人数：14名  
・「NPOの会計」オンライン同時配信  
講師：瀧谷 和隆 氏  
(税理士、NPO法人APIジャパン理事長)  
内容 NPO法人の目的と会計の役割、会計基準、貸借対照表のの公告、収支決算書と活動計算書、6つのチェックポイント



- ・「企業との協働」  
講師：加納 尚明 氏  
(NPO法人札幌チャレンジド理事長)  
内容：企業の動向、企業と一緒に考える視点、連携成功NPOのポイント、SDGsについて、企業はなぜ社会貢献活動を行うのか、企業への提案ワークショップ



- 令和4年10月19日(水)  
参加人数：11名  
・「ファンドレイジング入門 ～その理論と実践～」  
講師：徳永 洋子 氏  
(ファンドレイジング・ラボ代表/  
日本ファンドレイジング協会理事)  
内容：助成金はネット情報戦、オンライン申請、助成金は「消費」ではなく「投資」として活用する、ファンドレイジングの意義＝共感の輪を広げて問題解決の促進、資金提供することの意義＝直接活動できなくても「思い」と「お金」を託す、善意の資金



- 令和4年11月17日(木)  
参加人数：18名  
・「非営利組織のガバナンス拡充を進めるために  
～146団体アンケートから考える～」  
・「北海道内の地域の持続可能性を高めるために  
～小規模多機能自治の意識とポイント～」  
講師：川北 秀人 氏  
(IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者・  
ソシオ・マネジメント編集発行人)  
内容：理事会の役割、人とインフラの「2つの高齢化」、2020年の北海道は？、地縁組織は「行事・活動→事業」・「役割・運営→経営」

■ 市民活動スタッフ養成講座アンケートから

市民活動スタッフ養成講座について、参加者の評価や次回研修会のテーマ等に役立っているため、全日程終了後にこの講座が役立っているかなど、複数回参加した者に対してアンケートを実施した。

1 研修の日程について

(1) 研修の時間の長さは？

長い	3
丁度良い	13
短い	0

(2) 開催間隔は

長い	0
丁度良い	15
短い	1

(3) 開催回数は？

多い	1
丁度良い	15
少ない	0

1 研修会のテーマについて

(1) テーマの設定についてはどうですか。(※平均点(4段階で4が最高))

対話の実践／ ファシリテーション・グラフィックの練習と会議の実践	3.4
NPOの基礎	3.5
労働者協同組合法が社会を変える ～協同労働という働き方～	3.4
ひとりからみんなへ ～伝わる広報講座～	3.4
NPOの会計	3.1
企業との協働	3.5
ファンドレイジング入門 ～その理論と実践～	3.3
非営利組織のガバナンス拡充を進めるために ～146団体アンケートから考える～	3.3
北海道内の地域の持続可能性を高めるために ～小規模多機能自治の意識とポイント～	3.5

(2) 受講後、業務上役立っていますか。(※平均点(4段階で4が最高))

対話の実践／ ファシリテーション・グラフィックの練習と会議の実践	3.2
NPOの基礎	3.1
労働者協同組合法が社会を変える ～協同労働という働き方～	3.0
ひとりからみんなへ ～伝わる広報講座～	3.1
NPOの会計	2.6
企業との協働	2.8
ファンドレイジング入門 ～その理論と実践～	3.3
非営利組織のガバナンス拡充を進めるために ～146団体アンケートから考える～	2.7
北海道内の地域の持続可能性を高めるために ～小規模多機能自治の意識とポイント～	3.2

(3) 業務上役立ったことについて

- ・ 団体紹介テンプレートは、登録団体の皆さんに還元したい
- ・ 半期に一度ではあるが、利用者との懇談会を進行する立場となった。
- ・ インボイス制度の中身が少しわかった。
- ・ ファンドレイジングの部分で、最近、会員になってくださる方が少しずつ増えてきているので、広報と共に地道な活動が結果を生むんだと思います。
- ・ 対話とは何か、その重要性。小規模多機能自治の必要性、データに基づく未来予測。
- ・ 法人格の取得を検討していた任意団体の相談に対して、タイミングよく労働者協同組合について伝えることができた。

(4) 今回の研修テーマ以外で学びたいことは？

- ・ 他団体の具体的成功事例。
- ・ 本州でどんなNPO団体があり、どんな活躍をされているかの紹介。
- ・ NPOが機能しなくなった場合の事例。

(5) 講座で学んだことを、各組織内でスタッフにフィードバックしているか？

【している：9人　　していない：7人】

- ・ さっそく助成金審査（ヒヤリング）で、法人として今後の方向性を具体的に整理し、的確な表明をするための貴重な参考資料となった。
- ・ 研修内容は、もちろんですが、来ている方と連携できそうなことの共有もしている。
- ・ 職員内では、資料・所感を報告（共有）しています
- ・ 資料の回覧やミーティングで話題にし、日常業務や事業に生かすせるようにしている。
- ・ 講座で配布いただいた資料の他、講師の方の情報やセンターでも実施・活用できそうだと感じたことなどを共有しました。

(6) この研修会に参加してどうでしたか。

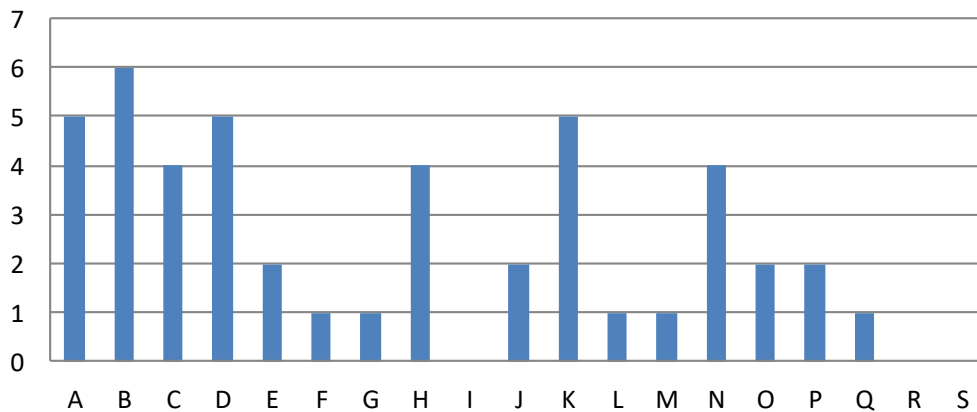
【3.5点】※平均点（4段階で4が最高）

- ・ 数字に訴える必要性を痛感。北海道そして札幌は、今手を打たなければ危うい現状を認識。
- ・ 前回から引き続き参加させて頂き、前回講座でなかった内容を学べる事ができて良かったです。また、最初講座を受けて分からなかった点を復習する事ができました。ZOOMではなかった団体さんと交流する事ができました。北海道立市民活動促進センター様、講師の皆様には多々ご迷惑をお掛けしたと思いますが大変お世話になりました。
- ・ 事例や、どのように資金調達を探す手立てや、その使い道などの運営方法などがあると団体運営に役立つのではないかと思った。
- ・ 講師の皆さんの個性もさまざま、今資料を見返していても自分のメモからその回の雰囲気思い出されて、楽しく学ばせていただいたなあと改めて思っております。
- ・ 市民活動を始める前と、5年経過しての今回、どちらも勉強になった。知っていおいて良かった（努力できた）ところもあったし、まだ足りないところもわかった。
- ・ 今回現地での参加が難しく、オンラインで参加できるもののみ受講させていただいたのですが、オンラインだとやはり音声の乱れがあったり終始聞こえにくかったりしたのが残念でした。無料でやっていただいている講座ですのでそこまで求めるのは違うのだとは思いますが…。しばらくは現地での参加が難しい状況ですが、いつか現地で参加させていただききちんと実に行きたいです。
- ・ 毎回の内容が充実していて、とても勉強になります。NPOを取り巻く環境もどんどん変化すると思うので、最新の情報も聞けていいと思います。
- ・ NPOがないのでイメージはついたが、他のNPOとディスカッションの時間がほしかった。
- ・ NPOとは関係無くても、有効な活用法があるので、広くアナウンスされてもよいかと。
- ・ 講座の内容はもちろんのこと、様々な事例や他組織の方とお話ができることがとても有益であると感じています。講師の方たちに事業や運営のヒントやそもそも私たちのような中間支援組織の役割を再認識する機会となっています。
- ・ 普段勤務している中で得ることのできない新たな視点からの学びがあり、とても有意義な時間でした。コロナによって他施設の職員の方や団体の方と直接会ってお話をする機会がなかったので講座以外の時間も良い経験となりました。

(7) この研修会をもっと良くするためのアドバイスをお願いします。

- テーブルワークの時間が少なすぎた。もう半日ぐらいの時間が必要。
- 団体の方向けの内容と中間支援施設職員向けの内容は若干異なる気もするので、その回ごとに主な対象はどちらなのか書いていただけたらうれしいなと思いました。
- 結構、講師の方も話足りないところがあったりするのかなと、であれば、期間は空いてしまうが、2回連続とかあっても良いかも。
- 少子化、超高齢社会、人口減少が年々厳しくなっているので、毎年講座にスタッフを送り出している市町村以外の市民活動をしている人達にももっと伝わる機会があればと思う。
- オンラインでも全てしっかり受講できるといいなと思います。参加したスタッフのレジュメを見る限りではオンラインでは難しい内容のものもありましたが、私のように現地に行けないけれど受講したいという人もいるかと思うので…。無料なので限界はあると思いますが。
- 午前と午後の、席替えがあるといいなと思います。
- 実際にNPOを運営している人達と交流を深めれば良かったと今思います。
- 参集範囲の拡大、アナウンスの範囲拡大

(8) 学びたいテーマは



- |               |                 |                |
|---------------|-----------------|----------------|
| A 会員の拡大の手法,   | B 人材育成,         | C 成果を生む会議の開き方, |
| D 組織運営について,   | E 会計業務について,     | F 組織評価,        |
| G 事業計画の立て方,   | H 事業開発,         | I 事業評価,        |
| J 効果的な広報について, | K ボランティアのマネジメント |                |
| L 情報の保管と活用,   | M 企業との協働,       | N 行政との協働,      |
| O 政策づくりの方法,   | P マーケティング,      | Q 助成金申請書の書き方   |
| R 相談事例,       | S その他           |                |

(9) 北海道立市民活動促進センターに期待したいことは

- 市民活動を継続、継承させていくための、長期にわたるサポート
- 今年度は対面が復活して、大きな学びの機会をいただきました。ただ、ほぼ一人でしか行けないので、相談員や講師の方たちに来ていただけたらと思います。
- 可能であれば、道東方面、帯広や釧路でもやって欲しいです。
- 有効な手法の広報。
- 市民活動促進センターとこれまで以上につながりをもって様々な事業等において連携していくことができればと期待しています。

c 中間支援組織への支援（5組織支援、参加人数約1,090名）

地域の市民活動の促進を図るため、道内の中間支援組織が主催する講座等に対して、要請に応じ経費の一部を負担し支援に努めました。

- NPO法人NPOサポートはこだて（函館市）  
開催日：令和4年12月3日（土）  
場 所：函館市地域交流まちづくりセンター  
事業名：「中間支援組織のガバナンスと原点」  
参加者：25名
- ひがし北海道市民防災サポート（釧路市）  
開催日：令和4年9月23日（金）  
場 所：イオンモール釧路昭和  
事業名：「ひがし北海道防災スクール2022 in 釧路」  
参加者：約1,000名
- 認定NPO法人まちづくりスポット恵み野（恵庭市）  
開催日：令和4年10月15日（土）  
場 所：花の拠点はなふる 大きなカステラが焼けるお庭  
事業名：「LOVE FLOWER♡」  
参加者：46名
- NPO法人くしろ・わっと（釧路市）  
開催日：令和5年1月21日（土）  
場 所：釧路市民活動センターわっと 会議室3  
事業名：「Excel基礎講座」  
参加者：8名
- NPO法人旭川NPOサポートセンター（旭川市）  
開催日：令和5年1月28日（土）  
場 所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe  
事業名：「ファンドレイジングセミナー in 旭川 ～共感型の資金調達の基礎を学ぶ～」  
参加者：10名

d 中間支援組織等ネットワーク促進（7回：84名）

道内の中間支援組織スタッフや市民活動団体のスタッフが情報共有する場に参加し、コミュニケーションを図り、市民活動団体のネットワークづくりの促進に努めました。

- 開催日：令和4年 4月27日（水） 参加者 9名  
令和4年 5月 9日（月） 参加者11名  
令和4年 6月17日（金） 参加者13名  
令和4年 8月24日（水） 参加者10名  
令和4年10月 7日（金） 参加者 8名  
令和4年12月 2日（金）～12月 3日（土）  
「全道中間支援研修交流会」参加者25名  
令和5年 3月 7日（水） 参加者 8名
- 内 容：非営利団体の事業の承継について学習・情報交換・共有  
各センターや団体の活動・事業紹介  
コロナ禍におけるセンターや団体運営についての情報交換・共有  
座談会の開催「フードバンクについて」学習



## オ 調査研究事業

テーマ：市町村における市民活動拠点の調査

statewideの市町村が開設している市民活動団体の活動拠点に関する調査を行うことによって、北海道立市民活動促進センターの市民活動に関する情報発信機能を高めるとともに、市民活動団体が活用できる拠点についてホームページ等で発信することを目的として実施しました。

対象：北海道179市町村（回答数：79市町村）

結果：別紙にて添付

## ② 年間スケジュール等に対する実績

### ア 相談業務

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	←											→	常時
実績	←											→	実施

### イ 情報提供業務

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ホームページの更新													常時
計画	←											→	常時
実績	←											→	実施
情報紙作成													
計画				1				1				1	3回
実績				1				1				1	3回
パンフレット作成													
計画			1										1回
実績													0回

### ウ 学習機会の提供に関する業務

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
NPO法人設立基礎講座													
計画							1				1		2回
実績							1				1		2回
公募企画講座													
計画						1		1		1			3回
実績						1		1	1		1		4回
市民活動ステップアップ講座													
計画					1		1		1				3回
実績									1		1	1	3回

### エ 人材の育成に関する業務

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市民活動スタッフ養成講座													
計画				1	1	1	1	1					5回
実績				1	2	1	1	1					6回

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ネットワーク促進													
計画					1		1		1				3回
実績	1	1	1		1		1		1			1	7回

## 才 調査研究業務

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査研究業務													
計画	←												1回
実績	←												1回

### (4) 各業務の実施計画に対する実績

項 目	計 画	実 績	摘 要
相談業務	随時	随時	
情報提供業務			
ホームページの更新	随時	随時	
情報紙の作成	3回	3回	7月、11月、3月発行
パンフレットの作成	1種	0種	残部があり作成を見送った
学習機会の提供に関する業務			
NPO基礎講座	2回	2回	10月、2月
公募企画講座	3回	4回	9月、11月、12月、2月
ステップアップ講座	3回	3回	12月、2月、3月
人材の育成に関する業務			
市民活動推進アドバイザーの委嘱	8名	8名	
市民活動スタッフ養成講座	5回	6回	7月、8月(2回)、9月、10月、11月
中間支援組織支援	5組織	5組織	9月、12月、1月(2回)、3月
ネットワーク促進	3回	7回	4月、5月、6月、8月、10月、12月、3月
調査研究事業	1回	1回	市町村における市民活動拠点の調査
地域住民との協働環境づくりに関する業務	1回	1回	3月

### (5) 利用者ニーズの把握、苦情・意見等への対応

センター利用者からセンターの管理運営についての意見やアドバイスを受け、今後の管理運営に反映させるため、利用者との意見交換会を開催しました。

#### a 構 成

構成については利用団体の中から、定期的に利用されている団体から選定しました。

- ・令和5年3月15日(水)
- 選定した市民活動団体 3団体
- 〔 日本語の会SORA 〕
- 〔 HIWA(北海道国際女性協会) 〕
- 〔 ガールスカウト北海道連盟 〕

#### b 要望の概要

団体により、センターの使い方が違うが、

1. Wi-Fiは重宝しているとの意見をいただいた
2. 人数制限、交流コーナーの利用上限、飲食など対策は変わらないか
3. マスク着用について、団体から、しばらく着用するとの見込が示された
4. テーブル等の消毒はこれからも続くのか

c 回答や対応

1. については、オンライン会議の会場として利用できることを紹介した
2. については、「道立施設における感染防止対策の指針」に沿った運営をしており、現時点では人数制限、交流コーナーの利用上限、飲食など、マスク着用以外の新型コロナウイルス感染症対策は今まで通りのとなっているため、指針やガイドラインの見直しがあれば、随時制限を見直していく
4. については、基本的に今まで通り続けていくが、将来的に利用後に都度消毒することは見直すことになると思われる

## 2 当該公の施設の利用状況に関する事項

センターの利用状況については次のとおりです。

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談 コーナー	RO3	21	10	21	20	5	6	10	13	9	8	23	21	167
	RO4	19	11	16	7	5	5	12	8	7	9	13	18	130
交流 コーナー	RO3	361	0	0	46	0	0	434	499	375	143	95	165	2,118
	RO4	481	379	483	301	236	492	453	513	378	312	461	586	5,075
情報 コーナー	RO3	78	4	2	28	0	1	53	70	59	25	18	41	379
	RO4	42	38	64	52	69	62	88	69	64	55	61	73	737
作業室	RO3	62	0	0	21	0	0	33	26	25	21	17	34	239
	RO4	47	24	30	44	37	24	27	27	31	12	45	46	394
講座 参加者	RO3	0	0	0	0	26	15	39	17	169	103	21	259	649
	RO4	0	0	0	14	28	40	18	151	53	0	118	18	440
施設 利用者 計	RO3	522	14	23	115	31	22	569	625	637	300	174	520	3,552
	目標	1,500	1,500	1,600	1,600	1,500	1,600	1,600	1,600	1,500	1,500	1,500	1,610	18,610
	RO4	<b>589</b>	<b>452</b>	<b>593</b>	<b>418</b>	<b>375</b>	<b>623</b>	<b>598</b>	<b>635</b>	<b>480</b>	<b>388</b>	<b>687</b>	<b>938</b>	<b>6,776</b>
HP アクセス 数	RO3	5,471	4,741	5,010	5,824	5,528	4,753	4,848	4,768	4,927	4,333	4,651	5,376	60,230
	目標	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,400	53,460
	RO4	<b>2,166</b>	<b>2,992</b>	<b>4,733</b>	<b>4,693</b>	<b>4,674</b>	<b>4,503</b>	<b>4,979</b>	<b>4,580</b>	<b>5,044</b>	<b>4,534</b>	<b>4,343</b>	<b>6,481</b>	<b>53,722</b>

## 3 管理に係る経費の収支状況

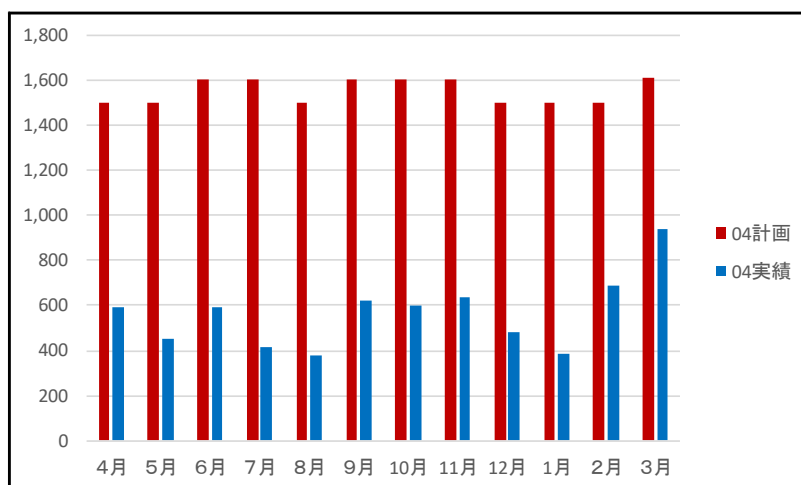
別添「令和4年度北海道立市民活動促進センター収支決算書」のとおり

#### 4 管理の目標達成計画に関する事項

##### (1) 施設利用者数 [目標値18,610人、実績6,776人、達成率36.4%]

目標値より11,834人下回る結果となりました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
〇4計画	1,500	1,500	1,600	1,600	1,500	1,600	1,600	1,600	1,500	1,500	1,500	1,610	18,610
〇4実績	589	452	593	418	375	623	598	635	480	388	687	938	6,776



##### ・ 前年度との比較

区分	令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	差 (a) - (b)	率 (%)	備考
相談コーナー	130	167	△ 37	77.8%	
交流コーナー	5,075	2,118	2,957	239.6%	利用人数制限
情報コーナー	737	379	358	194.5%	
作業室	394	239	155	164.9%	利用人数制限
講座参加者	440	649	△ 209	67.8%	
計	6,776	3,552	3,224	190.8%	

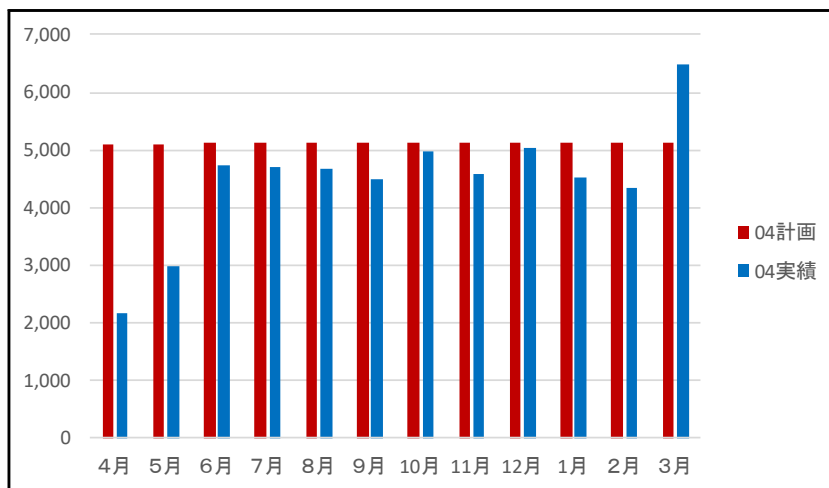
##### ・ 曜日、利用区分別利用者数

	計					上半期計					下半期計				
	午前	午後	夜	計		午前	午後	夜	計		午前	午後	夜	計	
月	177	263	120	560	8.3%	77	128	39	244	8.0%	100	135	81	316	8.5%
火	718	653	156	1,527	22.5%	313	304	25	642	21.0%	405	349	131	885	23.8%
水	626	817	38	1,481	21.9%	316	393	22	731	24.0%	310	424	16	750	20.1%
木	714	717	218	1,649	24.3%	329	367	34	730	23.9%	385	350	184	919	24.7%
金	83	290	132	505	7.5%	36	150	26	212	7.0%	47	140	106	293	7.9%
土	220	394	0	614	9.1%	127	190	0	317	10.4%	93	204	0	297	8.0%
日	171	269	0	440	6.5%	69	105	0	174	5.7%	102	164	0	266	7.1%
計	2,709	3,403	664	6,776	100.0%	1,267	1,637	146	3,050	100.0%	1,442	1,766	518	3,726	100.0%
	40.0%	50.2%	9.8%			41.5%	53.7%	4.8%			38.7%	47.4%	13.9%		

(2) ホームページアクセス数〔目標値53,722件、実績5,3460件、達成率100.5%〕

目標値より262件上回る結果となりました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	4,400	53,460
実績	2,166	2,992	4,733	4,693	4,674	4,503	4,979	4,580	5,044	4,534	4,343	6,481	53,722



(3) 講座等受講者数〔目標値390人、実績440人、達成率112.8%〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	0	0	0	20	50	70	50	95	30	50	25	0	390
実績	0	0	0	14	28	40	18	151	53	0	118	18	440
基礎講座							7				11		18
公募企画						26		133	25		96		280
ステップアップ									28		11	18	57
スタッフ養成				14	28	14	11	18					85

## 5 その他知事が必要と認める事項

### センター主催講座受講者アンケート調査結果

当センターの利用についてと、当センター主催講座の評価など次回講座に役立てるためアンケートを実施した（調査票：別添「NPO基礎講座アンケート」）。

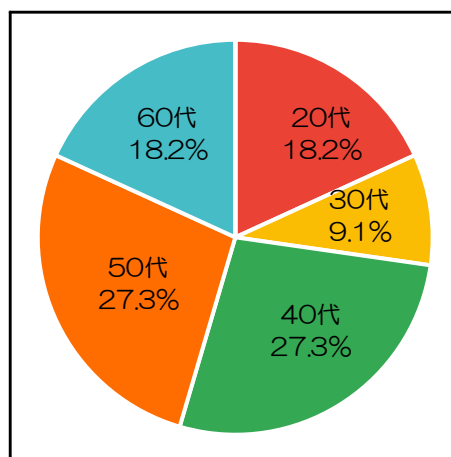
なお、回答数、講座名は次のとおりです。

区分	参加数	回答数	回収率
NPO基礎講座	18	11	61.1%

#### 1 ご自身のことについてお聞かせください

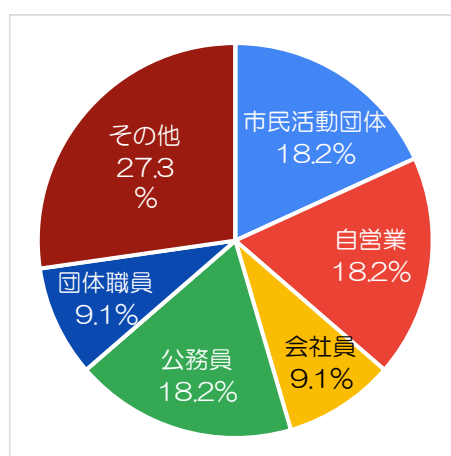
##### ・ 受講者の年代

区分	人数	%
10代	0	0.0%
20代	2	18.2%
30代	1	9.1%
40代	3	27.3%
50代	3	27.3%
60代	2	18.2%
70代	0	0.0%
80代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	11	100



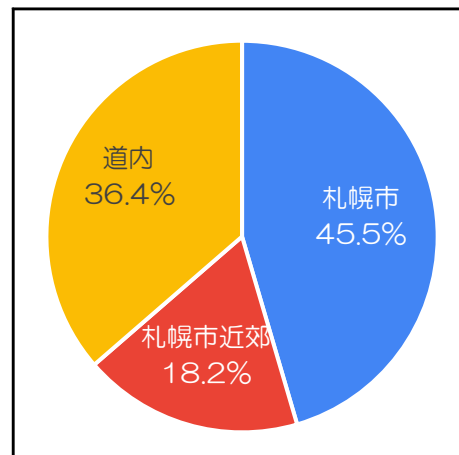
##### ・ 受講者の本業

区分	人数	%
市民活動団体	2	18.2%
自営業	2	18.2%
会社員	1	9.1%
公務員	2	18.2%
学生	0	0.0%
主婦	0	0.0%
団体職員	1	9.1%
その他	3	27.3%
無回答	0	0.0%
計	11	100.0%



• 受講者の住所

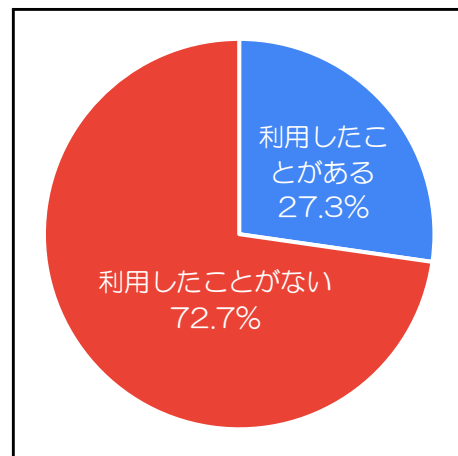
区分	人数	%
札幌市	5	45.5
札幌市近郊	2	18.2
道内	4	36.4
道外	0	0.0
無回答	0	0.0
計	11	100.0



2 当センターの利用について

(1) 当センターの利用の有無

項目	人数	%
利用したことがある	3	27.3
利用したことが無い	8	72.7
無回答	0	0.0
計	11	100.0



① 利用頻度

項目	人数	%
週に数回	0	0.0
月に数回	0	0.0
年に数回	0	0.0
数年に一度	3	100.0
無回答	0	0.0
計	3	100.0

② 利用時間

項目	人数	%
1時間未満	2	66.7
1～2時間	1	33.3
2～3時間	0	0.0
3～4時間	0	0.0
4時間以上	0	0.0
無回答	0	0.0
計	3	100.0

③ 開館日及び開館時間

項目	人数	%
利用しやすい	1	33.3
普通	2	66.7
利用しづらい	0	0.0
無回答	0	0.0
計	3	100.0

④ 利用した感想

項目	人数	%
満足	1	33.3
やや満足	1	33.3
どちらとも言えない	1	33.3
やや不満	0	0.0
不満	0	0.0
無回答	0	0.0
計	3	100.0

⑤ 今後の利用について

項目	人数	%
利用したい	1	33.3
できれば利用したい	2	66.7
どちらとも言えない	0	0.0
できれば利用したくない	0	0.0
利用したくない	0	0.0
無回答	0	0.0
計	3	100.0

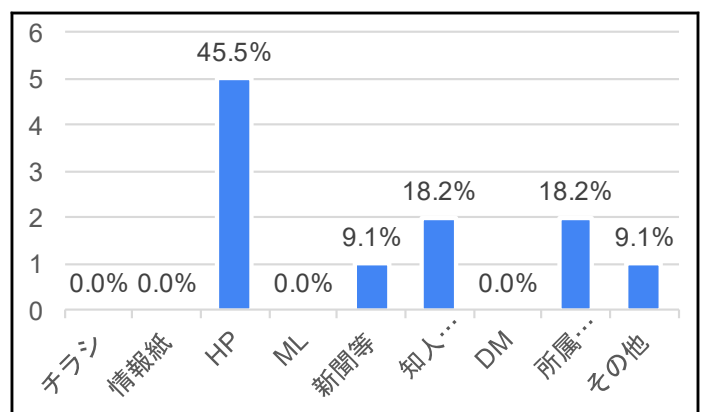
(2) 市民活動相談についてお尋ねします（相談をされた方のみお答えください）

項目	人数	%
満足	4	80.0
やや満足	1	20.0
どちらとも言えない	0	0.0
やや不満	0	0.0
不満	0	0.0
計	5	100.0

3 今回参加された講座についてお聞きします。

(1) この講座を何で知ったか

区分	人数	%
チラシ	0	0.0%
情報紙	0	0.0%
ホームページ	5	45.5%
メーリングリスト	0	0.0%
新聞等	1	9.1%
知人から	2	18.2%
ダイレクトメール	0	0.0%
所属団体	2	18.2%
その他	1	9.1%
計	11	100.0

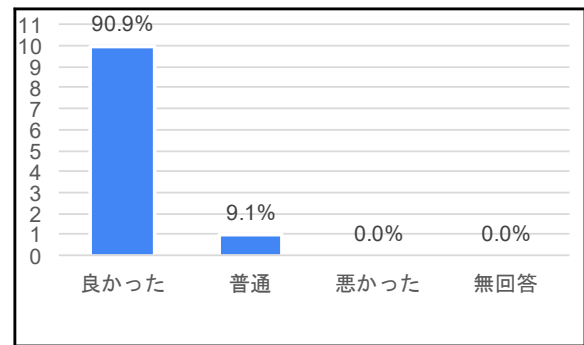


- その他の回答について  
市民活動促進センターに電話した時に紹介された。



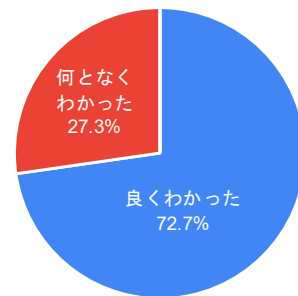
## (2) 講座の企画について

区分	人数	%
良かった	10	90.9%
普通	1	9.1%
悪かった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	11	100.0



## (3) 講座の内容について

区分	人数	%
よく分かった	8	72.7
何となく分かった	3	27.3
工夫が必要	0	0.0
無回答	0	0.0
計	11	100.0



## (4) 受講した講座の感想についてお書きください

- 大変わかりやすく、またポイントが絞られていて、実践的でした。本当にありがとうございました。とても興味深い内容でした。お席に空きがあれば2月も受講したいです。
- NPOとNPO法人の違いについて、これまで曖昧だった部分が明確になり、スッキリしました。また、NPO法人格の取得に関する知識もなかったため、今回学べてよかったです。
- NPOとNPO法人だと何が違うのかがよく分かりました。NPO法人を立ち上げるのは目的ではなく手段にすぎない事、任意団体だと困る事例(お金や権利等)が法人を持つと良い事、中間支援をする立場にとってとても貴重なお話を聞くことができました。
- NPO法人の申請書の書き方もとても助かりました。まだまだ覚えるべきことが多く、サポートする立場として、しっかり勉強して深めていきたいと思います。
- とてもわかりやすく、自身で振り返る点も見つけられ参考になりました。相談へ伺いたいです！
- NPOについて、まったくわからなかったので、少し理解できました。
- 今回の基礎講座が初めての利用でしたが、大変わかりやすく、今後のアクションや次回の相談内容のイメージが湧きました。ありがとうございます。
- 講師の東田先生が、NPO法人設立の経験をお持ちなので活きた情報を盛り込んだ講座で、非常に有意義な講座でした。
- NPOの基本的な考え方から、設立の仕方、法人格有無の言い方の違いまで、具体的に示していただきとてもわかりやすく、勉強になりました。是非細かな部分は直接お伺いさせて、ご教授いただきたく存じます。

5 今後、あなたが学びたいテーマはなんですか？（複数回答）

項目	人数	%
会員の拡大	4	13.3%
人材育成	0	0.0%
会議の開き方	0	0.0%
組織運営	3	10.0%
会計業務	2	6.7%
組織評価	0	0.0%
事業計画の立方	3	10.0%
事業開発	1	3.3%
事業評価	0	0.0%
広報	3	10.0%
ボランティアM	5	16.7%
情報の保管、活用	1	3.3%
企業との協働	2	6.7%
行政との協働	4	13.3%
政策づくり	0	0.0%
マーケティング	2	6.7%
その他	0	0.0%
計	30	100.0%

